

## 急潮の発生・伝播機構と定置網の被害防除

企画責任者 上野陽一郎 (京都海洋セ)・大慶則之 (石川水総セ)・石戸谷博範 (神奈川水技セ)  
・東海正 (海洋大)・松山優治 (海洋大)

09:20~09:25	開会の挨拶	上野陽一郎 (京都海洋セ)
	I. これまでの急潮研究と定置網の急潮被害実態	座長 石戸谷博範 (神奈川水技セ)
09:25~10:05	1. 日本周辺の急潮の特徴と成因	松山優治 (海洋大)
10:05~10:35	2. 定置網の急潮被害実態	丸山克彦 (新潟水海研)
10:35~10:40	質 疑	
	II. 日本海における急潮事例	座長 松野健 (九州大)
10:40~11:10	1. 富山湾周辺海域における急潮	大慶則之 (石川水総セ)
11:10~11:40	2. 若狭湾周辺海域における急潮	熊木豊 (京都海洋セ)
11:40~11:45	質 疑	
	III. 日本海の急潮の発生・伝播機構	座長 加藤修 (日水研)
12:45~13:15	1. 日本海における急潮の力学機構	千手智晴 (九州大)
13:15~13:45	2. 数値シミュレーションによる急潮の類型化	北出裕二郎 (海洋大)
13:45~13:50	質 疑	
	IV. 日本海の急潮の予測技術および定置網の被害防除	座長 東海正 (海洋大)
13:50~14:20	1. 日本海モデルによる急潮の予測	広瀬直毅 (九州大)
14:20~14:50	2. 急潮観測結果からみた定置網現場における防災上の課題	辻俊宏 (石川水総セ)
14:50~15:50	3. 定置網の急潮被害防除策	石戸谷博範 (神奈川水技セ)
15:50~15:55	質 疑	
15:55~16:55	総合討論	座長 上野陽一郎 (京都海洋セ)
16:55~17:00	閉会の挨拶	東海正 (海洋大)

### 企 画 趣 旨

日本沿岸、特に日本海側の基幹漁業である定置網漁業において、急潮(沿岸部における突発的な速い流れ)による漁具被害が近年頻繁に報告されており、経営を圧迫する大きな要因になっている。そこで、精度の高い急潮予測や漁具構造の改良な

ど漁業現場が必要とする実用的な防災技術開発の現状を紹介し、今後の方向性や発展性について意見交換するとともに、その防災策の確立に向けた議論を深めるために、本シンポジウムを企画した。

提案年月日 平成 20 年 3 月 17 日  
水産学シリーズの印刷を希望する、編者名 松山優治・石戸谷博範・上野陽一郎  
開催希望時期 平成 21 年度日本水産学会春季大会  
連絡先 上野陽一郎 (京都海洋セ)

TEL 0772-25-3078, FAX 0772-25-1532, E-mail [y-ueno34@pref.kyoto.lg.jp](mailto:y-ueno34@pref.kyoto.lg.jp)